

平成 29 年度 大阪府立福井高等学校 第 3 回学校協議会 議事録

日時 平成 30 年 3 月 8 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 00

場所 本校 校長室

- 1 校長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 校長より

○学校運営協議会の説明

- ・平成 30 年度より名称を変更、中身も若干変更。
- ・コミュニティ・スクールという概念を取り入れる。地域の声を取り入れる。
- ・学校運営の基本方針を承認してもらわないといけない。
 - *法的根拠が変わった。国全体で運営。条例から法律に変更。
 - *構成員にも一部変更があったが、現在のメンバーでも対応可能
 - *学校経営計画の承認が必要
 - *教職員の任用に関する意見も可能
 - *協議会の任期もリセット

【意見交換】

- ・年齢が 70 で引がかかるため、継続して引き受けられないのでは？
→原則なので…、問い合わせておく

4 事務局より報告

○入学者選抜概況

- ・日本語指導が必要な生徒 18 名の出願、初めて不合格者を出す。
12 名合格、本年度、卒業生を出す中で進路のことも苦労
- ・一般選抜、なんとか定員を満たした。地元の協力があってこそ、
教員一丸となって「行きたい」と思われる福井高校にしていきたい。

○広報活動総括

- ・「福井高校を育てる会」から頂いた意見を参考にしながら、
オープンスクール等の日程を変更した結果、いずれも参加人数が増えた。

【意見交換】

- ・定員を満たした原因についての分析は？
→倍率ベスト 10 がそんなに高くないことから分かるように、無理受けがなかった。
玉突きで、妥当な線を選んだり、学校の指導に乗ってきたイメージがある。
また、公立志向が戻った印象もある。
- ・私学の志望は、減っている？
→希望が多いのは付属高校、関関同立が人気。
あとは、そんなに多く出願しているわけではない。
4 年後の入試改革が不安なため、付属校を希望しているものと考えられる。
- ・総合学科になったというのは影響があったか？
→普通科・総合学科・専門学科を選ぶ際に、「総合学科」だから嫌、という生徒がいる。
しかしながら「総合学科」がいいという生徒は、一定いるため、
福井がガクッと落ちる可能性は少ない。

○生徒指導部「1年間を振り返り成果と課題」

- ・朝の挨拶、交通 → 保護者と協力して
- ・授業規律強化 ということで 行間遅刻を指導 → 雰囲気が変わってきている。
- ・頭髪指導 地毛が明るい生徒も増えているが
丁寧に対応しているので大きなクレームは来ていない。
- ・「身だしなみ」指導
36期生から、ネクタイ・リボン、指定のセーター・ベストの導入を検討している。

○今年度部活動主要実績

- ・ダンス部が、大きなチームで横浜、小さなチームで北九州での全国大会に出場したことが大きな話題だが、その他の部活も成果を上げている。
- ・しかしながら、加入率が低いのが課題。

○32期生進路状況を説明

- ・32期と31期の進路先の内訳は、ほぼ変わっていない
- ・総合学科特別推薦で入る生徒が増えた。結果、摂南大学への合格者が2→5に増えた。
- ・追手門学院大学も総合学科特別推薦での合格者が出た。
- ・初めてのコスモス生徒からは、関大1名、立命館1名の合格者が出た。

【意見交換】

・自転車指導についてのコメント

→*コミュニケーションについては、中学校も一緒。

たいがい、学校に電話がかかってくるのは対応のまずさ。「ごめんなさい」の一言で違う。

→人間関係を作っていくことが重要。

*この指導はいい。注意されたらまず、謝りなさいのが重要。

・総合学科特別推薦の数は増えている？

→増えてはいないでしょうが、受験者が少ないので合格しやすい。

→中学校の進路担当に、そういうのがあるということを伝えてもらえれば指導しやすい。

*ドリカムテイクオフの成果がA0で役に立った生徒がいた。

*推薦枠などを知らない中学生の保護者の方は、

「普通科で広く受験科目を学んでおいたほうがいいのではないかな？」

と考えて普通科を選んでしまう

○人権保健部「今年度の活動の最終報告・総括」

- ・総括の簡単な説明

○多文化共生プロジェクトより

- ・コスモスの生徒、1期生が卒業。初めて3学年がそろった。
- ・今年度、特に取り組んだのが、進路保障。全員確保はできた。
- ・人数が増えてきたので、課題も見えてくる。
- ・今年度、特別枠12名、一般でも配慮が必要な生徒も受ける。
→今後、コスモス生、増えていく可能性が高い。
エジプトとペルーを初めて受け入れる。
- ・コスモスの生徒が入ってきたことで、福井高校にいい影響を与えている。

○国際交流報告

- ・今年度は、韓国スタディーツアーを行う年であったが、先方の学校に引き受けて頂くことができなくなり、中止となった。
来年度には、実施できるように、検討をおこなっていく。

【意見交換】

- ・人権教育ありがとうございます。中学校でも、DV や子ども家庭センターから連絡のある生徒もいる。引き継いでいただいているのは心強い
→しんどい生徒が増えている。引き続き対応していく。

○総合学科推進会議報告

- ・今年度は、総合学科1期生が、3年生となり、初めてドリカムテイクオフに取り組み、また、3年間の集大成の発表の場として「福井ドリカムフェスタ」開催した。

○Yプロ活動報告

- ・初任の先生に対し、研修を行っている。
年度末には、担任の振り返り・情報共有を行う。
- ・新たな取り組みで9月1日に、福井小学校の6年生へ特別英語講座を行った。
- ・相互授業見学推進月間を実施した。
10/23～については、レポートの提出を義務付け、6割程度の教員が他の授業を見学した。

○学校教育診断表まとめ

- ・「6. 授業が分かりやすく楽しい」は、昨年度よりアップしている。
- ・「7. 実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がよくある。」
「8. 自分の考えをまとめたり発表する機会がある。」が、高い値になっている。
1年リサーチデー、3年ドリカムテイクオフの成果であると考えられる。
- ・「14. 悩みや相談に乗る。」がアップ
- ・今後、総合学科1期生の3年間の総括をする予定。
- ・「総合学科卒業生アンケート」では、
総合学科で学んでよかった：77.4%である一方、「ドリカム」関係の値が低かった。
→ドリカムフェスタ前で、進路まだ未決定の生徒がいる状況であった11月にとった影響もあったのかもしれない。

【意見交換】

- ・ドリカムテイクオフについての担当者のコメント
*課題研究は教師が何をするか指示しない。生徒が自分で授業の内容を決める。
教師も慣れていない、生徒も慣れていない。
授業というのは教科書があつて、というのとまったく違う学びであった。
*課題も成果も見られた。今後に活かしていきたい。
高校大学接続に問われる力が、こういったところで見られるのではないかと？
- ・「仕方がなしにここに入った」という生徒と、「ドリカム受けない」という生徒に、意識の違いがあると考えられる。仕方がなしにという生徒に意識を持たせるのは難しい？
→卒業生頑張っているよと見せていくのが重要だと考える。

5 質疑応答

- 生徒アンケートのなかで、「5. 7. 実験観察実習」について、以前に比べれば健闘している気がするが、先生方はどう考えているか？
茨木は教育に特化した町。
先端の授業を受けている生徒が、茨木の子と思ってほしい。
- 福井高校の授業のプリントを見ても、中学校と同じようにパワーポイントのプリントを配っている教員もいた。
教員の個性によって違う。される先生は、なさっているかも。
→授業改善は、一番の問題だと考えている。
授業改革は、高校が一番遅れているというのは、言われている。
- 障がいがある生徒にも、ユニバーサルデザインなど、取り入れれば、茨木の子が安心して通える学校となるのではないか。